



梅雨支度

人間がうっとうしく感じる梅雨は、家にとっても負荷がかかる季節です。しかし、事前にチェックしておけば、家が被るダメージを減らすこともできます。ご自身で簡単にできるチェックポイントを紹介します。

【外壁と屋根】

雨漏りは外壁の下地材を腐らせたリ、断熱材を湿らせてしまったり、内壁の石膏ボードをボロボロにしています。水分は家を破壊するだけでなく、内部にカビが発生すれば、住民に深刻な健康被害をも

たらします。

チェックするのは、外壁で雨がかりやすい場所にあるひび割れ、窓や排気口の周囲、テレビアンテナの配線の飛込み口などです。

天井のチェックも大変重要です。天井に濡れた跡を見つけたら、すぐに専門業者に相談してください。天井もクロスを貼ることが多いので、濡れた跡よりも剥がれて気づくことが多いかもしれません。もし、押入れの上などから、のぞくことができるなら、防塵マスクなどをしてからのぞいてみるのも一法です。

【雨どい】

雨どいの詰まりも、外壁からの雨漏りを誘発します。落ち葉やビニールゴミが詰まっていると、流れなくなった雨水があふれ、外壁のヒビから内部に侵入する可能性があります。雨どいに落ち葉除けの網を取り付けるなど、ある程度の対策も講じることができま

【床下】

防塵マスクをして床下点検口を無理

しない範囲でのぞいてみましょう。

床下の断熱材が湿って垂れ下がっていたら要注意です。基礎と接している木部が濡れていたら重症かもしれません。放置すると白アリの発生という最悪の事態を招く恐れもあります。

空気がよどんだ空間をのぞき込むのですから、かび臭かったりしたら中止して下さい。

比較的簡単にできるチェック法を紹介しましたが、天井や屋根、雨どいなど高所での作業ですから無理は禁物です。

雨が降り始めてから雨漏りに気づいた場合は、雨が止むまで作業をはいけません。足元が滑るなど大変危険です。一階屋根の雨どいは、ご自身でも掃除できますが、二階屋根の雨どいは業者に依頼してください。転落したら、生命にかかります。

天気の良い休日、家の周りをぐるりと見回ってください。雨どいの詰まりや屋根瓦の割れなどは、ご近所の方々が気づいているかもしれませんので、そういう情報交換も大事だと思います。

読売不動産

本社 東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル内
大阪支社 大阪府大阪市北区野崎町 5-9 読売大阪ビル内

TEL (03) 3217-8309 FAX (03) 5280-1833
TEL (06) 6363-8055 FAX (06) 6316-1400